

ミスミグループ本社 2023 年 3 月期 第 2 四半期 連結業績

～日本・中国の需要減速影響を強く受けるも為替効果で増収確保～

株式会社ミスミグループ本社は本日、2023 年 3 月期 第 2 四半期累計期間（2022 年 4 月 1 日～2022 年 9 月 30 日）の連結業績を発表しました。主な業績数値は以下の通りです。

(百万円)	2022 年 3 月期 第 2 四半期	2023 年 3 月期 第 2 四半期	増減率
売上高	182,238	188,158	+3.2%
営業利益	28,494	26,898	▲5.6%
純利益	20,831	20,240	▲2.8%
1 株当たり純利益	73.31 円	71.18 円	

1. 2023 年 3 月期第 2 四半期累計期間の連結業績ハイライト

- 当第2四半期累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染による影響が継続している中、中国ではロックダウンや一部地域における電力制限等により需要が減速し、日本においても中国ロックダウン影響を受け、自動車関連を中心に低調に推移しました。また、昨年から続いている各種材料や部品の品薄状況も本格的に改善されず、自動化関連の設備投資や工場稼働が低下しました。一方、中国を除く海外地域では需要が引き続き堅調に推移しました。
- こうした環境において、当社はメーカー事業と流通事業を併せ持つユニークな業態を活かしながら、これを支える事業基盤をグローバルで進化させ、顧客の確実短納期ニーズに応えることで世界の製造業を中心とした自動化関連産業に貢献しています。これまで当社が築いてきた IT、物流、製造の強固な事業基盤やグローバル拠点網を活用し、顧客の需要を的確に捉えることに尽力しましたが、中国ロックダウンの影響を強く受けました。
- この結果、需要減速の影響を受けましたが、為替効果もあったため、連結売上高は 188,158 百万円、前年同期比 3.2%増(現地通貨ベース 4.1%減)となりました。利益面につきましては、新基幹システム導入に関わる費用の増加により、営業利益は 26,898 百万円(前年同期比 5.6%減)、経常利益は 27,527 百万円(前年同期比 4.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は 20,240 百万円(前年同期比 2.8%減)となりました。

2. 全事業とも需要減速の影響を受けたものの、為替効果で増収確保

- 2023年3月期第2四半期累計期間のセグメント別売上高は、以下の通りとなりました。

	売上高(百万円)		増減率	
	2022年3月期 第2四半期	2023年3月期 第2四半期	円ベース	現地通貨 ベース
FA事業	59,073	61,415	+4.0%	▲3.2%
金型部品事業	37,515	39,900	+6.4%	▲5.1%
VONA事業	85,649	86,842	+1.4%	▲4.2%
合計	182,238	188,158	+3.2%	▲4.1%

- FA事業は、需要減速が見られた日本や中国を除き、他地域では成長が継続しました。
- 金型部品事業は、米州・欧州で成長が継続した一方で、その他地域で自動車関連の設備投資や工場稼働が低下しました。
- VONA事業は、一部商品不足や販売中止の影響が続いている中、アジア・米州・欧州が伸長しました。

3. 欧米が堅調に推移した一方、中国ロックダウン影響を受けた日中が低迷

- 2023年3月期第2四半期累計期間の地域別売上高は、以下の通りとなりました。

	売上高(百万円)		増減率	
	2022年3月期 第2四半期	2023年3月期 第2四半期	円ベース	現地通貨 ベース
日本	87,157	84,069	▲3.5%	—
海外	95,081	104,089	+9.5%	▲4.6%
中国	37,786	37,492	▲0.8%	▲14.7%
アジア	26,984	29,298	+8.6%	▲2.4%
アメリカ	16,395	21,284	+29.8%	+7.2%
ヨーロッパ	10,304	11,642	+13.0%	+6.4%
その他	3,611	4,370	+21.0%	+0.2%

- 日本では自動車関連をはじめ、中国ロックダウン影響からの回復が遅れ、前年同期比3.5%の減収となりました。
- 海外ではロックダウンや電力制限などの影響を受けた中国を除き、総じて堅調に推移し、前年同期比9.5%の増収となりました。

4. 第2四半期末の配当金は17円80銭、前年比53銭減

- 当社は、持続的成長と企業価値向上を実現するための経営基盤拡充、財務体質の強化、資本効率の向上などを総合的に勘案し、株主還元方針を定めております。
- 配当に関しては、配当性向25%を基準に決定しておりますため、当第2四半期末の1株当たり配当金を17円80銭(前年比53銭減)とさせていただきます。
- 期末配当予想については、前回予想を58銭上回る19円14銭(前年比4円43銭増)に修正いたしました。

	年間配当金		
	第 2 四半期末	期末	合計
前回予想		18 円 56 銭	36 円 94 銭
配当性向		25.0%	25.0%
今回修正予想		19 円 14 銭	36 円 94 銭
配当性向		25.0%	25.0%
当期実績	17 円 80 銭		
前期実績	18 円 33 銭	14 円 71 銭	33 円 04 銭
配当性向	25.0%	25.0%	25.0%

5. 2023 年 3 月期連結業績予想は従来どおり

- 2023 年 3 月期の通期連結業績予想については、2022 年 5 月 6 日公表の業績予想からの変更はありません。今後の事業環境については、中長期的にはグローバルで自動化関連需要の基調は不変であるものの、足元では新型コロナウイルス感染の影響や部材不足等による需要減速など不透明性が増しておりますが、当社の独自施策や為替効果などを勘案し、前回公表の業績予想を据え置きいたします。
なお、今後事業環境の変化により業績に影響を及ぼす重要な事項が発生した場合には、速やかに開示いたします。

2023 年 3 月期連結業績予想(2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	純利益	1 株当たり 純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
通期予想	403,500	57,300	57,600	42,000	147.72
前期実績	366,160	52,210	52,500	37,557	132.15
増減率(%)	+10.2%	+9.7%	+9.7%	+11.8%	—

[業績予想に関する留意事項]

この資料に掲載されている2023年3月期の見通し及び将来に関する記述部分につきましては、国内及び諸外国の経済状況、各種通貨の為替レートの変動、業績に影響を与えるその他の要因等、現時点で入手可能な情報をもとに、当社グループが合理的であると判断した一定の前提に基づいておりますが、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの将来に関する記述のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際の業績は、様々な要素により、これら業績予想とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には当社グループを取り巻く経済情勢、市場の動向、為替レートなどが含まれます。

2023 年 3 月期第 2 四半期の連結業績の詳細は、決算短信をご参照ください。

この件に関するお問い合わせ
株式会社ミスミグループ本社
コーポレート・リレーション室 IR・SR チーム
Tel:03-5805-7037 Fax:03-5805-7014
mail: cc@misumi.co.jp